

# 知っておきたい保険のはなし

## 猫劇場

### ～長野県の自然災害～

じゅじゅ  
寿寿

しっかり者の  
お姉さん猫



はっば  
わがまま、  
気まぐれな  
妹猫

知っておいたら役に立つ保険の知識。でも、難しくてよく分からない…。そんな保険のおはなしを、寿寿とはっばが分かりやすく解説します。

監修／アストのほけん



気付けばすっかり秋ね。

食欲の秋、芸術の秋… みなさんはどんな秋を楽しんでいるかしら？



私たちは圧倒的に食欲の秋だけ…「災害の秋」なんて言葉もあるわよね。ま、最近はもう秋に限らず年中災害まみれな感じだけださ。



秋は台風や自然災害が多くなるからね。

台風以外でも、お盆前の「南海トラフ地震臨時情報」もあったものね。



あー！あったわねえー！！なんかどーしたらいいのかわかんないし、結局何もしないしマイチピンとこないし。でもまあなんかやバいらろうなーの？ そんな味に怖い感じはあったわね。



んもう、そんなんじゃダメじゃないの…。今日は、そんなはっばに目の覚めるお話を。「長野県の自然災害」について詳しくおさらいしましょう。今まで長野県で発生した大きな災害3つ。

- ・2011年 3月12日 長野県北部地震（栄村）  
死者3名、全壊34戸、半壊169戸
- ・2014年11月22日 神城断層地震（白馬村周辺）  
全壊81戸、半壊175戸
- ・2019年10月13日 令和元年東日本台風（千曲川決壊）  
死者23名、全壊920戸、半壊2,496戸



そういえば、そうだったにや。長野県って海無いし、台風来ない県とが言われたのにな。



そう、そんな長野県でも、死者が出てしまうような大きな水災も起こるのよ。橋が落ちたり、家が流されたりしたでしょう？ 3月12日の地震は東日本大震災の翌日の早朝だったから、前の日テレビで見た被災地の様子を思い出してぞっとした人も多はず。大きな恐怖や被害の衝撃、思い出したかしら。



こ、怖いや…!!!



怖さ思い出したところで、追いつく！  
今後長野県内で発生が想定される大きな地震はこの2つ。  
①南海トラフ地震（死者130～180名、全壊・焼失2,200戸～2,300戸）

30年以内の発生確率は60～70%。

諏訪地域では、液状化被害がかなり多く発生する見込みなんだって。東日本大震災の時のディズニーランドが液状化現象で水浸しになっていた様子を思い出してみ。お家って、ちょっとでも傾いたらもうそこには住めないからね。



住めないからね。て… いやそれすごい困るじゃないの！



②糸魚川～静岡構造線断層帯の地震（死者5,600名～7,100名、全壊・焼失83,000戸～98,000戸）30年以内の発生確率は10～30%。  
桁違い!! ものすごく大きな被害が発生する地域が長野県内全域なの。



これ、被害はすごそうだけど… 南海トラフよりも全然確率低いし大丈夫じゃない？



そう思うわよね。だけどよく考えてみて。交通事故で怪我をする確率は24%、空き巣被害が3.4%、火災が1.9%なの。つまり、家が燃えたり空き巣が入る確率よりは、この大地震が起こる確率の方が全然高いってこと。



そっか… 低いとも言い切れないわね。  
今回の南海トラフみたいに「危ない!」てなったら、ちゃんと保険入らなくっちゃ。



あら、それは甘いわよ？ 東海地震も、南海トラフと同じように危険が迫ったと判断されると警戒宣言が発令されるんだけれど。発令された後は、危険が大きな地域（地震防災対策強化地域）は地震保険の契約や増額は出来なくなっちゃうの。諏訪6市町村も、しっかり対象地域に入ってるんだから。そう。危なくなったら保険入ればいいか！は通用しないってことね。



うわあ… まあ、あれよね。地震保険以外でも何にでも言えることだけど、早めの準備が大事ってことよね。ギリギリは駄目なのや！ あれ？ なんか耳が痛い…。



地震への危険意識の大切さ、分かってきたんじゃないかしら。皆さんも、非常持ち出し袋のチェックをお休みの日にでもやってみて下さいね。防寒対策はあるけど暑さ対策が何もない！とか、食べ物も飲み物も賞味期限切れまくってる！とか。結構あるあるなの。その他にも、被災した時のご自身の保険での補償や、国からの補償の公的支援についてもしっかり調べておかないとね。



そうよー。早めの準備大事！みんなも試してみてもいいや!! (やっぱ耳が痛い…)